

2023 年 4 月から 2025 年 3 月までに当院で気管支鏡検査を受けられた患者さんおよびそのご家族の方へ

「感染症診断以外の目的で施行した気管支鏡検査時の吸痰培養の検討」

へご協力をお願い

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

気管支鏡検査時に行う痰の吸引は、気道の感染が疑われる患者さんから痰を採取して培養検査を行い、その後の診療に役立てることを目的として行われます。一方で、感染症の診断以外の目的で気管支鏡検査を行った場合でも、気道の中に多くの痰が溜まっていることがあります。しかし、その痰の中にどのくらいの割合で感染の原因菌が潜んでいるのか、あるいはどのような患者さんに菌が見つかりやすいのかについては、まだ十分に分かっていません。

本研究では、気管支鏡検査の際に吸引した痰の培養結果と、患者さんの状態や CT 画像の特徴などの関連を調べて、どのような患者さんで痰の培養検査が役に立つのかを明らかにすることを目的としています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究により、感染症を疑う症状がなくても、気管支鏡検査時に痰を採取して調べる意義のある患者さんを見極めて、必要な方に的確な検査ができることを目指します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に、当院で感染症診断以外の目的で気管支鏡検査を実施し、検査時に痰採取をおこなった方を対象としています。

2) 研究期間

当院倫理委員会承認後から 2028 年 3 月 31 日までです。

3) 研究方法

2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に当院で気管支鏡検査を実施し痰採取をおこなった方の診療情報をもとに、患者さんの全身状態や CT 画像、気道内の痰の性状（色や量など）と培養の結果（菌の有無）についての関連を調べます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの氏名、生年月日など直ちに個人を特定できる情報は削除し、匿名化して、情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、既往歴、喫煙歴、診察所見、治療内容、血液検査、培養検査
胸部単純X線やCTなどの画像データ、病理学検査

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、姫路赤十字病院の医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当院ホームページに掲載してお知らせします。

6) 研究計画書および個人情報の開示

この研究の内容について質問等がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。また、あなたの診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、お申し出ください。その場合でも、診療において不利益を生じることはありませんのでご安心ください。なお、研究の進捗状況により、すでに解析が完了している場合などでは、途中で情報を削除できないことがありますのでご理解いただきますようお願いいたします。その他、ご不明な点などがございましたら下記までご連絡ください。

<問い合わせ・連絡先>

姫路赤十字病院 内科 第二呼吸器内科部長

氏名：真下 周子

電話：079-294-2251 ファックス：079-296-4050

<研究組織>

研究機関名 姫路赤十字病院

研究責任者 内科 真下 周子